

## ESG 経営から SDGs を達成する社会へ

積水ハウスグループは、2015年に国連でSDGsが採択される10年以上前より、持続可能な経営を開始し、社会の変化に合わせて成長と進化を遂げてきました。2021年はグローバルビジョンの実現を目指して、ESG 経営を推進するにあたり、ステークホルダーや社会にとって重要かつインパクトの著しい課題を「環境」、「住」、「コミュニティ」、「人」、「組織」の5つのマテリアリティとして抽出しました。さらに、5つのマテリアリティに取り組むにあたり、2030年の達成目標とするSDGsを設定しました。積水ハウスグループは、長期目標「サステナビリティビジョン2050」を現実するため、まず、2030年のSDGsを達成する社会に目標を定め、ESG 経営に取り組んでいきます。

### 5つのマテリアリティと関連するSDGs



環境	E 環境	マテリアリティへの取り組み 1 「脱炭素社会を先導する」	7, 13, 15, 17, 18, 24
社会	S 住	マテリアリティへの取り組み 2 「『住』の可能性を追求する」	3, 5, 6, 7, 11, 12, 13, 15, 17, 18, 24
	S コミュニティ	マテリアリティへの取り組み 3 「地域社会と共生する」	3, 4, 5, 6, 7, 8, 10, 11, 12, 13, 15, 17, 18, 24
	S 人	マテリアリティへの取り組み 4 「多様なチカラを結集する」	3, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 15, 17, 18, 24
ガバナンス	G 組織	マテリアリティへの取り組み 5 「インテグリティを体現する」	16, 17, 18, 24

### 「サステナビリティビジョン2050」の2030年目標

<b>脱炭素社会への先導</b> SBT目標の達成 	<b>人と自然の共生社会への先導</b> 生物多様性の主流化をリード 	<b>資源循環型社会への先導</b> 循環型事業の制度整備加速 
<b>「わが家」を世界一 幸せな場所にする</b>		
<b>健康・長寿先進社会へ先導</b> 社会課題を見据えた新たな価値の創造 	<b>ダイバーシティ社会へ先導</b> ダイバーシティ&インクルージョンによる持続的成長 	